

- 工事申告は書類NO.B100 V2H充放電設備等設置工事申告の「作成」ボタンより申告できます。
- 「作成」ボタンを押すためには以下の2つの書類が「登録済」となっている必要があります。

書類NO.6900 会社別請求書一覧、書類NO.3000 V2H充放電設備情報

【V2H】実績報告申請一覧

管理NOV53773申請者名日本橋太郎設置場所区分個人宅

申請者区分個人設置場所名称××宅駐車場

V2H補助金実績申請額50,000

V2H設置工事補助金実績申請額0

V2H設置に係る補助金実績申請額（合計）50,000

※なお、資本関係のある会社から調達を受ける場合、補助金申請額より利益相当額を排除します。

※上記申請額は実績の入力情報を基に算出された金額です。交付決定額を上限とした見込額は右の『見込額確認』ボタンより確認してください。

見込額確認

連絡事項

書類一覧

上から順に入力、確定してください。

検索結果：8件

書類NO	書類名称	補足説明	状態	編集	帳票	受付結果
6900	会社別請求書一覧	見積書を提出した会社全ての請求書を準備して入力	登録済	作成	確認	
3000	V2H充放電設備情報	書類NO.B100を「確定」後に、再度「確定」ボタンを押すと、書類NO.B100を再度確認し、「確定」をする必要がある。	登録済	作成	確認	
B100	V2H充放電設備等設置工事申告	工事費用と工事内容の申告 書類NO.6900/NO.3000の「確定」後に入力可能		作成	確認	
B200	要部写真			アップロード	確認	

戻る

申請

1「作成」を押してください。

◆V2H充放電設備等設置工事申告の画面構成

【V2H】（実績時）V2H充放電設備等設置工事申告

管理NOV53773

設置場所名称xx宅 駐車場

入力額の確認

①請求総額200,000

②V2H充放電設備請求総額100,000

③工事請求総額100,000

④工事費の合計0

⑤他の工事費100,000

①請求総額

②V2H充放電設備請求総額

③工事請求総額

④工事費の合計

⑤他の工事費

200,000

100,000

100,000

0

100,000

【6900:会社別請求書一覧】で入力した総額が表示されます。

【3000:V2H充放電設備情報】で入力した購入価格の総額（購入価格×基数）が表示されます。

①請求総額－②V2H充放電設備請求総額（③＝①－②）の値が計算され表示されます。

本画面で入力した工事費（材工込）の合計が計算されます。（一時保存もしくは確定ボタンを押した時）

③工事請求総額－④工事費の合計（⑤＝③－④）の値が計算され表示されます。

⑤他の工事費の結果がマイナスの場合は確定はできません。以下について確認後、再度【確定】を押してください。

【本画面の工事費（材工込）】、【3000:V2H充放電設備情報】、【6900:会社別請求書一覧】の金額を確認してください。

※エラーが表示された状態で本画面から別画面に移動しますと、入力データの登録が行われず編集内容は無効となります。

工事申告

■工事申告について

・初回に表示されている「工事項目の選択」および「工事費（材工込）」は交付で申告した値です。
・交付から変更が無い場合は、内容を確認後「一時保存」「確定」の操作を行ってください。
・交付から「工事項目の選択」および「工事費（材工込）」に変更がある場合は、変更に応じ申告してください。
「工事項目の選択」について変更がある場合は、該当する「工事項目の選択」の有無を修正して申告してください。
なお、「工事項目の選択」について変更がある場合は、「計画変更申告」を申告する必要があります。
「工事費（材工込）」に変更がある場合は、該当する「工事費（材工込）」の金額（税別値）を修正して申告してください。
確定後にV2H充放電設備を変更する場合は工事項目の選択および工事費(材工込)をよく確認してから一時保存、確定を押してください。
V2H充放電設備の本体付属品、オプション品についてはセンターホームページで確認の上、申告してください。確定ページはこちら

工事No工事項目選択工事費（材工込）

工事No 1基礎工事

有

無

工事No 2据付工事

有

無

工事No1～2の合計0

工事No 1および工事No 2の選択を行い、工事No 1および工事No 2にかかる工事費の合計を入力してください。
V2H充放電設備の本体付属品の設置労務費は工事No1～2の合計に上してください。

工事要件

④ V2H充放電設備等設置工事を申告するにあたり、以下の要件を満たしていることを誓約します。

【基礎・据付工事】

V2H充放電設備メーカーが「取付け作業指示書」等で指示するV2H充放電設備本体の基礎サイズの仕様を満たしています。

【電気関連工事】

V2H充放電設備メーカーが「取付け作業指示書」等で指示するケーブルの仕様を満たしています。

V2H充放電設備本体等の性能を担保するブレーカー・切替開閉器を設置しました。

設置工事補助金申請額の算定（実績報告）

ア. 工事項目ごと補助上限額の合計0

イ. 工事費の合計0

ウ. 補助金交付上限額150,000

エ. 設置工事の補助金申請額0

工事項目で選択した内容をもとに算定された金額が表示されます。

工事費（材工込）に入力した合計金額が表示されます。

補助金交付上限額は「150,000」です。

工事の補助金交付額の目安になります。（ア、イ、ウの内、最も低い額が表示されます。（千円未満の端数は切り捨て。））

補助金交付額はセンターの審査により決定いたします。

戻る

一時保存

確定

a.入力金額の確認

以下の3項で入力した内容が計算され、表示されます。

1:書類NO.6900 会社別請求書一覧

2:書類NO.3000 V2H充放電設備情報

3:本画面の申請額

※本画面の「一時保存」または「確定」を押すと再計算されます。

b.工事申告

工事内容の有無の選択と工事費(材工込)の金額を入力します。
工事の補助金申請額の算定に使用されます。

c.工事要件

誓約項目になります。

d.設置工事補助金申請額の算定

確定後に各算定結果が表示されます。
工事補助申請額(工事の補助金交付額の目安)の確認ができます。

©2009 Next Generation Vehicle Promotion Center

工事申告

■工事申告について

・初回に表示されている「工事項目の選択」および「工事費（材工込）」は交付で申告した値です。

・交付から変更が無い場合は、内容を確認後「一時保存」「確定」の操作を行ってください。

・交付から「工事項目の選択」および「工事費（材工込）」に変更がある場合は、変更に応じ申告してください。

「工事項目の選択」について変更がある場合は、該当する「工事項目の選択」の有無を修正して申告してください。

なお、「工事項目の選択」について変更がある場合は、「計画変更申告」を申告する必要があります。

「工事費（材工込）」に変更がある場合は、該当する「工事費（材工込）」の金額（税抜き）を修正して申告してください。

確定後にV2H充放電設備を変更する場合は工事項目の選択および工事費(材工込)をよく確認してから一時保存、確定を押しください。

[V2H充放電設備の本体付属品、オプション品についてセンターホームページで確認の上、申告してください。確認ページはこちら](#)

工事No	工事項目	選択	工事費（材工込）	
工事No 1	基礎工事	☒有 ☐無		
工事No 2	据付工事	☒有 ☐無		
工事No1～2の合計			200,000	工事No 1および工事No 2の選択を行い、工事No 1および工事No 2にかかる工事費の合計を入力してください。 V2H充放電設備の本体付属品の設置労務費は工事No1～2の合計に計上してください。
工事No 3	本体搬入費	☒有 ☐無	30,000	工事No 3の選択を行い、工事No 3にかかる工事費の合計を入力してください。
工事No 4	電気関連工事	☒有 ☐無	300,000	工事No 4の選択を行い、工事No 4にかかる工事費の合計を入力してください。
工事No 5	諸費用	☒有 ☐無	100,000	工事No 5の選択を行い、工事No 5にかかる工事費の合計を入力してください。

工事要件

■V2H充放電設備等設置工事を申告するにあたり、以下の要件を満たしていることを誓約します。

【基礎・据付工事】

V2H充放電設備メーカーが「取付け作業指示書」等で指示するV2H充放電設備等本体の基礎サイズの仕様を満たしています。

【電気関連工事】

V2H充放電設備メーカーが「取付け作業指示書」等で指示するケーブルの仕様を満たしています。

V2H充放電設備本体等の性能を担保するブレーカー・切替開閉器を設置しました。

V2H設置工事補助金申請額の算定（実績報告）

ア. 工事項目ごと補助上限額の合計	550,000	工事項目で選択した内容をもとに算定された金額が表示されます。
イ. 工事費の合計	630,000	工事費（材工込）に入力した合計金額が表示されます。
ウ. 補助金交付上限額	550,000	補助金交付上限額は「550,000」です。
エ. V2H設置工事補助金申請額	550,000	工事の補助金交付額の目安になります。（ア、イ、ウの内、最も低い額が表示されます。（千円未満の端数は切り捨て。））

補助金交付額はセンターの審査により決定いたします。

戻る

一時保存

確定

1

工事申告

交付申請時の工事の有無、申告額が表示されていますので、変更がある場合は修正してください。

2

工事要件

工事要件欄の内容をよく読み、誓約にチェックが入っているか確認してください。

算定について

確定後、工事の補助金交付額の目安が確認できます。

※補助金交付額はセンターの審査により決定します。

©2009 Next Generation Vehicle Promotion Center

- 3
- 工事申告、工事要件の入力が終わりましたら、「一時保存」を押し、本画面上部の入力額の確認を行います。
- 4
- 申請額の確認が終わりましたら「確定」を押してください。
確定されると、実績報告申請一覧画面に「確定しました。」と表示されます。
エラーメッセージが表示された場合は、修正後、再度「確定」を押してください。※エラーメッセージ例は5ページへ

V2H設置工事補助金申請額の算定 (実績報告)

ア. 工事項目ごと補助上限額の合計	550,000	工事項目で選択した内容をもとに算定された金額が表示されます。
イ. 工事費の合計	630,000	工事費（材工込）に入力した合計金額が表示されます。
ウ. 補助金交付上限額	550,000	補助金交付上限額は「550,000」です。
エ. V2H設置工事補助金申請額	550,000	工事金交付額になります。（ア、イ、ウの内、最も低い額が表示されます。（千円未満の端数は切り捨て。））

戻る

一時保存

確定

一時保存しました。

【V2H】（実績時）V2H充放電設備等設置工事申告

管理NO	V53773
設置場所名称	××宅 駐車場

確定しました。

【V2H】実績報告申請一覧

管理NO	V53773	申請者名	日本橋太郎
申請者区分	個人	設置場所名称	××宅 駐車場

■「確定」を押下後、下記表示が出る場合は、申告額の入力がされていない状態です。
申告する場合は「キャンセル」を押し、再度、入力内容を確認してください。

fa3dev.charge.cev-pc.or.jp の内容

工事申告額の合計が0円です。
このまま申請されますと『工事補助金額は0円』となります。

OK

キャンセル

◆確定時のエラーメッセージ例

確定ボタン押下時にエラーが表示された場合は、修正し、再度「申請」を押してください。

☑工事項目の選択欄にチェックがない

基礎工事のチェックは必須です。

工事No 1 基礎工事

☐有
☒無

☑工事費(材工込)の入力がない

本体搬入費にかかる工事費の合計は必須です。

工事費 (材工込)

☑工事項目の選択と工事費(材工込)に矛盾がある

本体搬入費のチェックが「無」になっています。当該項目の工事費が1円以上の場合は「有」とする必要があります。

☐有
☒無

15,000

☑「⑤他の工事額」がマイナスとなっている

⑤他の工事額の結果がマイナスのため、確定できません。①の総額を超えた工事費の申告となっております。工事費の入力や充電設備の購入価格等を見直し修正してください。

入力額の確認	
①請求総額	1,800,000
②V2H充放電設備請求総額	300,000
③工事請求総額	1,500,000
④工事費の合計	1,530,000
⑤他の工事額	-30,000